

関係団体ヒアリングでいただいた御意見について、ワークショップ（むかいがおか 出張所×まちづくり アイデアカイギ）で整理をした『「こうなったらいいな」と思う向丘地域のイメージを実現するためのアイデア』の9つのテーマに沿って類別しました。

- ① 豊かな自然と農
- ② 誰もが集える地域拠点や活動を支える拠点
- ③ 人や活動のつながり
- ④ 子どもや子育て世代にやさしい
- ⑤ シニアがイキイキと暮らせる
- ⑥ 地域の情報発信
- ⑦ 歴史・文化・学び
- ⑧ アクセス・暮らしの充実
- ⑨ 行政サービスの充実

<① 豊かな自然と農>

- 平瀬川流域には、健康の森やとんもり谷戸、東高根森林公園があり、全長でも4km圏内である。これだけの資源が近接している地域はあまりない。大切にしていきたい。
- 平瀬川の周辺に、そらとぶトマトやはぐるま農園等があり、平瀬川を中心に特区にして、独自化を進め、観光農園にしていきたい。
- 区役所と出張所の機能分担は考えていく必要がある。向丘地区は歴史・自然という特色がある。その特色を活かす方向に力を入れて検討してはどうか。

<② 誰もが集える地域拠点や活動を支える拠点>

- 様々な場所に会議室があると便利。個別ケースのカンファレンスのほか、イベントや勉強会、研修の時に利用したい。行政による運営では、17時以降の利用ができない。同業者との勉強会等は夕方以降に行うことが多く、場所の確保に苦労している。
- 現在、区民活動支援コーナーの会議室を利用しているが、狭く、参加者から暑い、寒いといった声があったり、コーヒーを淹れるのに、廊下を利用しているが、給湯室まで距離があったりと運営上もやりにくい部分があるので、もう少しゆったりしたスペースがあると良い。大会議室の利用も検討してほしい。
- カフェコーナーが1階にあると良い。民間が入っている図書館等もあり、できると良いのでは。
- 以前、子どもを連れて行った際、キッズコーナーで遊ばせていたが、大きな声を出してしまい、来庁者は多くはなかったが気まずい思いをしたため、音楽が流れていると多少紛れて良い。
- 照明が暗く、雰囲気良くない。
- 駐車場が少ないのでは。裏側（向丘小学校側）にも車を止められるようにしてほしい。
- 現在の区民活動支援コーナーのフリースペースは、印刷機があるため、印刷中は音がうるさく話しくい。そういった不便が解消されると良い。
- 出張所の近隣に住んでいる方の生活する上での困りごと等のニーズの把握と、カフェや市民活動等、

出張所の機能をより充実するためのニーズの把握の二段階に分けて進めると良い。

- 向丘出張所でカフェをもっとできるようにしていきたい。ふらっと立ち寄ってくつろげるスペースがあると良い。男性はなかなか足を運ばない。連合自治会や民協など、いろいろな人が日替わりで運営するカフェができると良い。それぞれつながっている人が違うので、毎回違う人が参加するようになって良いのでは。
- 現在の出張所の駐車場が狭い。また、入口まで坂になっておりバリアフリー上の課題があるので、対応策の検討が必要。
- 出張所は、気軽に来れて、人が集まる場・雰囲気になると良い。地域の夢を語る場は行きたくなる場所ではない。
- 向丘出張所は、民生委員の中でも、会議室をはじめとして、利用価値は高いと感じている。
- 可能であれば、（今のコロナ禍も踏まえ）自己防衛のためにも、出張所の外に手洗い場などがあると、出張所に来て、まずは手を洗うという作業が、建物に入る前にクリアでき、接触機会が低減して、時間の短縮等にもつながると思う。
- 行事が分散し、出張所のスペースも限りある中で、無理な要望とわかっているが、月1回の行事・イベントをする際、資機材を持ち込むのではなく、置いておける場所があると良い。
- 民生委員さんの地域活動の拠点、高齢者をはじめとするみなさんが、使える・使いやすいことも考慮していかなければならない。
- 普段は支障ないが、活動時間がみんな一緒に、会議室など重なることが多く、確保に向けた調整に苦労している。隣の会議室（6～8帖）くらいの部屋が1番ニーズがあるので、増えると良い。
- 平いこの家で食事会（2月に1回）やミニデイ（月1回）を実施しており、毎回40人程集まるが、狭く、密が発生してしまう状況なので、今は実施できていない。また、坂の上にあり、五所塚や高山団地にお住まいの方の参加が多い。
- 出張所の会議室が使用できれば密を避け、再開できるのではと考えている。また、立地も良いため、いろいろな方に集まってもらえると思う。
- 食事会は手作りの料理を出しているため、調理室があると良い。
- ミニデイ（20人程度の参加者）では仕出し弁当を提供しているので、場として出張所を借りられればやり方はいろいろあると思う。
- 日曜や夜間も出張所2階の大会議室を利用できると良い。今後、企業等の定年が上がっていくと、働きながら民生委員を担う人も増えてくる。土日や夜間に打合せを行える場が必要。
- 出張所内の調理室が難しければ、屋外で火気を使えるスペースを用意してはどうか。管理を自治会が担うなどすれば行政の負担も軽くなる。普段は、食事会などの調理に使用し、災害時にも使用できるのでは。
- コミュニティカフェも平いこの家など坂の上にある場所ではなかなか人が集まらない。出張所では「むかおカフェ」が始まると聞いており、そうした活用ができると良い。
- 専門性も大事だが、多様性も大事。いろいろな人のバラバラな意見から課題や活動を吸い上げるような仕組みが必要。

- 行政は意見を広く聞いていくが、そうするといろいろな人の思いを実現するために、多目的なスペースや使い方が良いということに陥りがち。今後は地域の実情や特色に特化したものが必要ではないか。
- 区役所が近いので、あまり出張所に行く事はないが、出張所は暗くて寄り付きたくない印象がある。
- 区役所や市民館では市民が WEB 会議を行うための設備がないので、今後カメラや Wi-Fi の整備など、ボランティア活動したくなる設備があると良い。
- 向丘出張所は駐車場が狭く、会議室も夜間や土日に使えない。
- 出張所は地域にとっての身近な拠点なので、地元で絞り込んだ進め方をした方が良い。
- 市民意見を聞いて、いろいろな機能を出張所に入れるとスペースが減る。区役所が移転した後、区役所周辺の住民が出張所を利用するようになる。現在の活動支援コーナーがとり合いになる。活動支援コーナーは現状利用が 30% 前後だが、今がちょうど良いのに利用しにくくなるのは困る。
- 向丘出張所が老人いこいの家みたいに活動できる場になるといい。
- 向丘出張所のバス停から上り坂は、バリアフリー的にはアウトだと思うが、これはどうにかならないのか。宮前区役所の鷺沼移転の議論の際にも、現在の宮前区役所ではバリアフリー面で課題があるという論点があった。この観点で行くと、向丘出張所も移転したほうがいいのではないかという話になる。そういう意味でも、バリアフリーをなんとかしてほしい。
- 向丘出張所 2 階の会議室は、区民活動支援コーナー以外は、土日・夜間が使えない。工事費はそれほどかからないと思うので、1・2 階のセキュリティ区分をして、使いやすくする工夫をしてほしい。向丘出張所の建替までになんとかしてほしい。
- 向丘出張所は、向丘地区のコミュニティの要だと思っている。現役世代は、平日日中は集まらない。土日とか夜間じゃないと集まらない。現役世代が集まれる場所を作ることが地域コミュニティのソフトな部分で大事だと考えている。その場所をまず行政側から提供してほしい。土日・夜間使えるように工夫をすれば、使用率が高くなると思う。セキュリティの問題もあるが、1 階と 2 階の分けは、いくらでも工夫できるのではないか。キッチンスペースもあると、母親も子連れで使えるなどと、施設の稼働率が上がると思う。
- 町内会館だと、町外の人を使用する際に許可手続など色々面倒な部分があるので、公共施設を使用できるといい。会議室でもマットを敷くなどすれば、子どもが遊びながらママがお茶会するなどに使える。老人クラブの加入率も下がってきており、若い人にも入ってもらえるといいので、土日でも向丘出張所が使えるといいと思う。
- 平いこいの家は、坂がきつく老人には良い場所とはいえません。出張所をいこいの家として使わせていただきたい。
- 20 名（最低）以上が入れるホールがほしい。（体操、各クラブの演芸大会ができるようなホール）
- 親しみのある出張所を希望する。
- リフォームしてきれいにしてほしい（特にトイレ）
- 台所設備は必須。（地域の絆活動には必要不可欠であります。）
- 行政機能と地域活動機能を両立させるため、土日及び一定の夜間に地域活動が行えるように両機能の間に壁を設置し、セキュリティについては警備会社に委託。

<③ 人や活動のつながり>

- 出張所等を使って出張窓口ができると良い。他都市では曜日を決めて実施しているところもある。今ある資源や人材を有効に活用し、繋がるべき人がうまく繋がれると良い。
- 販売ができると人が集まってくるので、できるようになると良い。
- 自然環境を生かし、子育てしやすく、高齢者が安心して暮らせ、障害を持っている方も住みやすい地域というアドバルーンを上げて、行政と地域と一緒にまちづくりを進められると良い。
- 向丘出張所で行政手続は何ができるのか。住民票を取りに来るくらいしか使ったことがない。今後 ICT を活用していくことで職員のスペースを減らせるのであれば、そのスペースを調理室など、多世代が集まったり区民の利用のために使っても良いのではないか。
- 宮前区は市民活動が盛んなので、出張所に活動の場を設け、活動をしやすくするのが良いのでは。しかし、市民活動を支援するために最も重要なのは、活動に関する相談や団体同士を繋げる人とノウハウである。常駐の職員で、市民と一緒に地域を盛り上げていこう、市民の自発的な活動を応援しようという前向きな姿勢を持った人を専門的に配置すべき。
- 活動は「場」ではなく「人」で繋がっていくものなので、繋げる人がいることは大事。

<⑤ シニアがイキイキと暮らせる>

- 出張所が地域のハブとしての機能を持ち、そのハブの先の施設として、高齢者が行政との接点としての拠点を「地域包括支援センター」においてほしい。
- いくつかは建て替えなければならないことと延命との経費バランスを図りつつも、現在の高齢者に何らかのメリットがある活用をお願いしたい。

<⑥ 地域の情報発信>

- 区役所等へのチラシの配架は難しいと思うが、障害者サポーターのチラシを向丘出張所にも置きたい。
- 宮前区内ではいろいろなところでコミュニティカフェやイベントが行われている。イベント情報を集め、イベント情報の発信拠点になると良い。バスを待っている時間に情報キャッチ。
- みやまえ子育て応援団が実施しているもので、オムツ替えができるなど子育てにやさしいお店や施設にステッカーを配っている取組があるが、向丘地区が少ない。少し大きなエリアでとらえると、出張所にあると良い機能が見えるかもしれないので、検討してほしい。
- 以前、ほしい資料があって区役所に行ったがフロアごとに資料が分かれていて見つけれなかったが、出張所に行ったらすぐに見つかったことがあった。職員が分かりやすく整理し、配架しているのだと思いととても感心した。
- むかいがおかミライ通信はどこで配っているのか。せっかくいい内容なのに、年寄りはどういうものを、全然知らない。

<⑦ 歴史・文化・学び>

- 図書館機能として、予約本の受取や返却ができるが良い。サービスを充実させることは高齢者が外出する後押しになる。図書館に行くことで生活の自立度を維持できている高齢者もいる。
- 昨年の台風で平瀬川が有名になったが、自分の住む地域の環境について知らない人が多い。菅生の辺りは支流との合流地点のため、氾濫の危険がある。そうした環境についても理解し、対策を考えながら生活する必要がある。そのためにも、地域の成り立ち等を学べることはとても重要。
- 歩いて図書館に行けていたのが、鷺沼に移転すると、行けなくなる。子どもたちと一緒に図書館に行っていると話を聞いている。出張所にミニ図書館ができると良い。本を借りたり、読んだりできる機能がほしい。
- 伝統文化を大切にしていってほしい。

<⑧ アクセス・暮らしの充実>

- 高齢者中心の集まりなので、向丘は山坂があるエリアで歩くことが活動の主となると思う。老人いこいの家も坂の上にあるので、坂を上るのも下るのもきついことである。立地環境というところで検討してほしい。
- 区役所が鷺沼に移転した後、交通の便がどうなるか気になる。尻手黒川道路を通るバスの本数は少なく、向丘地区は溝の口に向かうバスが多い。尻手黒川道路や国道246号線など、長距離移動の道路は走っており、交通量は多いが、区内の移動という面では分断されてしまっている感もある。
- 向丘地区から鷺沼駅に行くためにはバスを乗り換えなければならない。1本で行けるようにバス路線を良くしてほしい。
- 向丘地区には、鷺沼には行ったこともない、行き方もわからないという人も多い。バス路線としても鷺沼に1本でいけない地域が多く、鷺沼に区役所が移転するのであれば、バス路線も検討してほしい。
- 出張所の周りには向丘小学校やJ Aもある。防災の拠点にしていけると良い。
- 向丘地区は、現在の区役所でも、アクセス性に課題があり、月1回は何らかの打合せで訪ねているのが現状である。
- 区役所へのアクセスにタクシーを利用する人もいるが、生活保護を受けている方などは難しい。鷺沼に移転すると尚更遠くなる。
- 出張所を避難所として活用するのは良い。日頃から高齢者や子育て中の方が気軽に出張所に来られる環境を整え、有事の際も出張所に集まれば安心という場にできると良い。
- 個人的な利用で区役所へ行くのは、高額療養費や介護保険関係で、頻度は高くない。図書館はよく利用する。予約もできるが、人気のものは半年待ちなどなかなか借りられないので、直接行って借りたい本を探している。現在は、ウォーキングにはちょうど良い距離。疲れたらバスで帰ってくる人もいる。鷺沼に移転してしまうとなかなか行けないので厳しい。バス路線をしっかりと検討してほしい。
- 向丘出張所は、地区の真ん中にあり、バスの本数も多い。そもそも鷺沼駅前に移転となると、向丘地区の住民からみて、アクセスは悪い。

- 交通の便でいうと、鷺沼はバス便が集中しているが、既存バス路線の活用、ミニバスのなのもうまく使えるといいと思う。

<⑨ 行政サービスの充実>

- 鷺沼駅近辺で相談を受ける際は、行政サービスコーナーを待ち合わせに利用することが多い。障害者にとって、身近な生活圏で行政手続きできる場への需要は高いと思われる。行政手続きの電子化が進むとはいえ、紙で申請する人は一定数残ると思われ、そうした方が、出張所で手続きできると助かると思う。向丘地区の方は、特にそのように思っている方が多いのではないか。
- 区役所が鷺沼に移転し、向丘地区からは更に遠くなる。出張所でも区役所と同程度の手続きができるようになると良いが難しいか。
- 現区役所も坂が大変だが、鷺沼に区役所が移転するとより遠くなってしまい、なかなか行かないと思う。出張所で申請や手続きができると良い。
- 出張所で申請や届出を出し、区役所へ回送し、数日後に証明や結果が出張所に戻ってきて受け取れるような仕組みができると良い。
- 特定の曜日に、出張窓口を設けてはどうか。
- 障害を持っている方や高齢者に関する手続きは身近な出張所でできると良い。
- ラジオで次世代通信規格 6 G の研究を始めたと聞いた。実現すると遠隔操作で手術ができるようになるようである。例えば、出張所に来て、区役所にいる職員と映像等で繋がり、相談や手続きもできるようになるのではないか。
- 地域包括ケアシステムの取組と出張所は密に連携すると良い。
- 今の出張所は職員が近く、すぐに相談できて距離感がとても良い。区役所は窓口も多く、敷居が高く感じる。出張所の距離感を大切にしてほしい。
- 日中は仕事をしているなど、こうした場に来られない人もいると思うので、インターネットで意見を自由に言えるような意見箱の仕組みがあると良い。
- 出張所が普段どれくらい使われているか、向丘地区の方がどれくらい区役所に行っているか把握して検討を進めてほしい。
- 地域包括支援センターは、要介護・要支援認定の代行申請を行っており、ほぼ毎日区役所へ行っている。代行申請は、書類を高齢・障害課に提出し、認定調査員が訪問する日程調整を行うのみであり、数分で完了する。区役所への移動時間の割合が圧倒的に高く、毎日行けない場合もある。大変非効率な状況である。しかし、利用者のためにもなるべく早く区役所へ行く必要がある。
- 向丘出張所へのアクセスは非常に良いので、例えば出張所で書類の受取と受理日の確定をしてもらえるようになれば、書類の回送は役所内の仕組みで安全に行うことができるだろうし、認定調査員の訪問日等は電話でのやりとりで決定できれば十分である。地域包括支援センターが行う要介護・要支援認定の代行申請は、書類 1 枚であり、記載に関する不備等もほぼないため、出張所職員が専門知識を持って書類審査をしたり、書き方の相談を受けたりすることはまず考えられず、導入へのハードルもそれ程高くないのではないか。一方、利用者（区民）が直接申請する場合もあり、そ

の場合は、書き方の相談を受けたり、制度の説明を求められたりすることもあると思われる。出張所で、そこまでの受付をすることが難しいとしても、地域包括支援センターの代行申請については、検討していただきたい。現状の非効率な部分を解消することで、区民サービスの向上に繋げることができると考えている。

- 出張所での認定代行申請受付について要望したが、本来的には電子申請ができたり、地域包括支援センターに申請受理や認定調査をする権限を与えられている方が区民サービスは向上する。
- 出張所を支所へ格上げしたり、各種届出の受付を行えるようにできないか。
- 地域包括支援センターのことを知らずに出張所へ相談に来ることもあと聞いており、出張所に出張相談窓口を設置することも考えたが、必要性は感じるものの、地域包括支援センターの職員1人が行ったところで、あらゆる相談に対応できるか疑問がある。現状、地域包括支援センター内でも職員同士で相談しながら対応していることも多い。また、日々の事務処理に忙殺されている中、更に出張窓口人員を割くことができるか慎重に検討する必要がある。
- 向丘地区は高津区役所など他区の区役所の方が、アクセスが良い人が多い。そこで手続できると便利なのは。
- 諸手続が、以前のように、区役所と同様、出張所でできると良い。
- デジタル化はパソコンが苦手な人にも配慮・対応してほしい。
- 高齢者の生活支援は、やはり「Face to Face」が大事になってくる。毎日の体調管理をとっても、直接顔を合わせる効果は高く、数値も良い傾向にある。区役所からの保健師さんと話すだけで、体調が落ちつく人も多い。
- 出張所で高齢者関係の手続ができると良い。曜日を決めた出張窓口でも良い。
- 行政が予算も使ってしっかり向き合う姿勢が必要。
- 向丘地区の交通の便は考える必要がある。バスで鷺沼にどれだけ行けるようになるか分からない中で、区役所へ行かずに出張所で済ませられる機能を決めて導入していくのが良いのでは。
- 出張所を建て替える予定はないのか。
- 区役所が移転し不便になるのだから手続等の業務を広げるべき。
- 本来であれば、移転して不便になる向丘地区への対応をどうするかを決めてから移転を決めるべきなのに、先に決めてしまった。行き当たりばつりの政策である。新しい区役所がどのような配置でどういうスペースになるか示されていない。出張所をどうしたいか意見を聞くよりも先に、まず行政として出張所をどうしていくか示すことが重要。
- 区役所に高齢者専用のワンストップ窓口を設置してはどうか。マイナンバーの手続から介護・障害等まで全て対応できる、移動が困難な高齢者に優しい窓口ができるとよい。
- 出張所機能の縮小だと思っているが、ITも活用するのであれば、出張所のスペースはそこまでいらぬのではないかと思う。故に、出張所の機能はなんなのかというところから考えないといけない。出張所の機能をどういふところに持っていかということが示されると、どこに出張所が必要かという話ができると思う。高齢者は坂の下りで怪我をする。出張所みたいなものが、平地にあるほうが良い。予算的に単独でできなくても、合同でやればできるともあと聞いた。そうであれば、合同でやった方がいい

いと思う。

- 行政サービスを、鷺沼に行かないとできないことを向丘出張所でできるシステムを作ってほしい。鷺沼まで行くのは大変なので、デジタル化もあるし、向丘出張所で用事が済むようにしてほしい。
- 自分は10年前に初めて、宮前区役所に妻の介護保険申請のやり取りで行った。個人的にはそれ1回だけ。それを出張所でできればいい。年齢が上がるにつれて、鷺沼に行くのは厳しい。ITを活用して向丘出張所で手続できると、鷺沼まで行かなくいい。
- スマホは、操作が分からない部分もある。普段は電話だけで、インターネットの使い方は、分からない。そういったことも、出張所で職員が教えてくれるといい。
- 行政には、弱い立場にある人を水準に物事を考えてほしい。高齢者は、取り残されてしまう。高齢者を基準に行政の窓口にしてもらいたい。
- 国民健康保険のプール券は、以前は向丘出張所で貰っていた。行政は、サービスをなんでも縮小していくのか。
- 将来的にはスマホでなんでもできるようになると思う。過渡期は、デジタルとアナログを両方やってもらわないといけない。出張所は、高齢者にとっては近いところがいい。近くに行けば、手続ができるといい。これから益々デジタル化が進んでいく。そうなったときに、我々が困らないようにしてほしい。家で何でもできる時代になるが、デジタルとアナログ、両方兼ねたシステムを作ってほしい。
- 行政について、今まで以上に充実した役所であってほしい。
- すべての行政手続ができる様にしてほしい。
- 相談コーナーを作ってほしい。
- 「地域包括支援センター」（24時間・365日活動している施設）に再任用職員を配置し、行政手続の端末を置き、地域密着型の施設にしてほしい。